



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイビー化粧品

コード番号 4918 URL http://www.ivy.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白銀 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部 部長 兼 経営管理部 部長 (氏名) 中山 聖仁 TEL 03-6880-1201

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,580	△20.6	△407	—	△415	—	△478	—
29年3月期第3四半期	4,507	25.1	661	68.1	666	70.1	347	69.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △471百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 365百万円 (78.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△124.48	—
29年3月期第3四半期	87.69	—

※ 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施し、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,869	1,266	18.4
29年3月期	6,945	2,518	36.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,266百万円 29年3月期 2,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	50.00	—	150.00	200.00
30年3月期	—	50.00	—		
30年3月期(予想)				100.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※ 1. 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の株式併合を行い、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成29年3月期の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定して、平成29年3月期の配当金を記載しております。

2. 平成29年3月期の期末配当金の内訳は普通配当125.00円、記念配当25.00円であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	0.5	700	△35.8	700	△36.3	400	△34.0	103.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,104,000株	29年3月期	5,104,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,257,679株	29年3月期	1,257,012株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,846,556株	29年3月期3Q	3,965,560株

※ 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施し、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、諸地域との外交や経済の変動により、景気への影響に留意する必要があるものの、各種政策の継続推進を背景に、投資や雇用環境の更なる改善等が続くなかで、景気の好循環が期待されています。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

平成29年は企業テーマに「Happy」を掲げました。長期ビジョン「日本の肌はアイビーがつくる」のもと、これまで以上に、多くの女性が抱く美しい肌、美しい生き方への夢を実現していくため、一人ひとりが“私はアイビー”という強い信念と誇りをもって、お客様とかかわり、活動しております。

当第3四半期連結累計期間においては、各営業拠点で展開してまいりました「愛と美のつどい」を営業戦略の核におき、その前後における営業活動の強化と、今期発売予定の新製品情報を含めた営業戦略の浸透等を通して、販売組織のモチベーション向上と販売促進に努めてまいりました。具体的には、平成30年2月発売の新製品「ホワイトパワー セラム」の取り組み喚起、及び第2四半期連結累計期間に実施した“春のキャンペーン”の購入者フォローを中心とした実売推進や予約促進をはじめ、販売組織の拡大を積極的に推進してまいりました。また、12月に発売しましたメイク製品「アイビー メイクアップコレクション グレイスフルレディ」による顧客満足向上、当社グループの強みでもある当社と販売組織の一体感をより強固にし、ビジョン推進を図るための販売員教育プログラム改訂準備にも取り組んでまいりました。販売組織づくりにおいては、前年同四半期比で営業所増設は5.8%増、ビューティマネージャー増員は6.7%増、アイビーメイツ増客は7.8%増となりました。

当第3四半期連結会計期間では、レギュラー製品売上が前年同四半期比51%増で推移しましたが、第2四半期連結累計期間の売上高減少が大きく響いたことに加えて、販売稼働者が当初計画数まで到達しなかったこと、当第3四半期連結累計期間における「レッドパワー セラム」の追加受注が前年同四半期に比べ減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比で減少しました。

利益面におきましては、売上高減少により売上総利益が減少したこと、一部の販売費及び一般管理費を先行投資していることにより、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純損益とも、前年同四半期は利益でしたが、当第3四半期連結累計期間は損失となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,580,912千円（前年同四半期比20.6%減）、営業損失407,691千円（前年同四半期は営業利益661,832千円）、経常損失415,086千円（同経常利益666,398千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失478,816千円（同親会社株主に帰属する四半期純利益347,721千円）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期は2倍の組織作り、2倍の売上高を目指してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間までの売上進捗は予定と大きく乖離しました。また、販売組織における実売進捗が悪く、売掛金回収についても課題を残すこととなりました。利益状況につきましても、経費を先行投資で増加しているため、利益状況が大きく悪化致しました。

一方、当第4四半期連結会計期間におきましては、浸透美活液「ホワイトパワー セラム」の拡販が見込まれ、レギュラー製品については堅調に推移すると予想しております。引き続き研修動員および販売員の育成・ランクアップにつとめ、「レッドパワー セラム」および「ホワイトパワー セラム」の拡販、美白製品およびレギュラー製品の底上げに努めて参ります。

当第3四半期連結累計期間までの進捗および期末までの販売状況を踏まえ、連結業績予想については、平成29年11月9日に公表しました通期業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも下方修正致します。「ホワイトパワー セラム」については、製品そのものの評判は非常に好評であります。諸処の課題解決に時間も要するため2月月初の出荷状況はそれほど良くありませんでした。そのため、当初見込んでいた100万本（売上高約35億）までには到達しない見込みとなり、通期の売上高は前期並になる可能性が高くなりました。そのような状況を鑑み、売上高につきましては6,700百万円に、営業利益につきましては700百万円に、経常利益につきましては700百万円に、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては400百万円に下方修正致します。なお、従前は予想数値をレンジ予想で出しておりましたが、分かりづらいというご意見も多いため、予想の出し方を変更しております。

また、配当予想につきましても、上記利益予想状況を鑑み、1株当たり年間配当金150円（中間50円、期末100円）に下方修正致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,219,362	559,172
受取手形及び売掛金	2,112,517	1,517,739
商品及び製品	495,152	922,401
仕掛品	9,792	23,821
原材料及び貯蔵品	341,499	561,575
未収還付法人税等	-	397,593
その他	377,768	471,412
貸倒引当金	△8,803	△49,573
流動資産合計	4,547,288	4,404,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	332,813	313,820
機械装置及び運搬具(純額)	44,942	62,383
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	4,114	2,742
その他(純額)	47,310	90,051
有形固定資産合計	950,371	990,188
無形固定資産	82,364	81,844
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	347,890	387,704
投資不動産(純額)	405,443	399,273
差入保証金	324,224	327,691
その他	358,233	346,849
貸倒引当金	△85,493	△96,479
投資その他の資産合計	1,350,298	1,365,040
固定資産合計	2,383,034	2,437,072
繰延資産		
社債発行費	15,250	28,425
繰延資産合計	15,250	28,425
資産合計	6,945,574	6,869,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	595,868	709,682
短期借入金	310,000	1,210,000
1年内償還予定の社債	224,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	-	60,000
未払法人税等	693,763	135
賞与引当金	160,550	58,001
役員賞与引当金	58,150	-
株式給付引当金	-	78,061
返品廃棄損失引当金	22,000	21,358
その他	944,601	710,223
流動負債合計	3,008,933	3,247,462
固定負債		
社債	1,384,000	2,008,000
長期借入金	-	225,000
役員株式給付引当金	-	57,472
その他	34,483	65,067
固定負債合計	1,418,483	2,355,539
負債合計	4,427,416	5,603,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	1,064,970
利益剰余金	3,677,515	2,423,459
自己株式	△2,207,115	△2,933,337
株主資本合計	2,618,400	1,359,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,628	25,219
土地再評価差額金	△117,871	△117,871
その他の包括利益累計額合計	△100,243	△92,651
純資産合計	2,518,157	1,266,640
負債純資産合計	6,945,574	6,869,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,507,135	3,580,912
売上原価	823,867	650,458
売上総利益	3,683,268	2,930,454
販売費及び一般管理費	3,021,436	3,338,145
営業利益又は営業損失(△)	661,832	△407,691
営業外収益		
受取利息	6,245	14,358
受取配当金	556	741
受取賃貸料	29,471	28,069
業務受託手数料	12,904	8,271
雑収入	14,835	8,678
営業外収益合計	64,013	60,120
営業外費用		
支払利息	8,085	12,457
賃貸収入原価	32,017	36,120
雑損失	19,344	18,938
営業外費用合計	59,447	67,515
経常利益又は経常損失(△)	666,398	△415,086
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	666,398	△415,086
法人税、住民税及び事業税	424,461	7,962
法人税等調整額	△105,785	55,767
法人税等合計	318,676	63,730
四半期純利益又は四半期純損失(△)	347,721	△478,816
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	347,721	△478,816

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	347,721	△478,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,418	7,591
その他の包括利益合計	17,418	7,591
四半期包括利益	365,139	△471,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,139	△471,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、親会社株主に帰属する四半期純損失478,816千円及び配当金支払額775,239千円を計上しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が1,264,056千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が2,423,459千円となっております。

当社は、平成29年5月11日開催の取締役会において従業員向け株式交付信託の導入を、平成29年6月29日開催の第42期定時株主総会において役員向け株式交付信託の導入を、それぞれ決議しました。当第3四半期連結累計期間において、従業員向け株式交付信託及び役員向け株式交付信託の信託契約に基づき、自己株式の処分及び取得を行っており、自己株式の処分により資本剰余金が721,170千円増加、自己株式が206,487千円減少、自己株式の取得により自己株式が927,657千円増加しております。当第3四半期連結会計期間末において従業員向け株式交付信託が所有する当社株式（株式数68,925株、帳簿価額544,507千円）、及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式（株式数48,500株、帳簿価額383,150千円）については、自己株式として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。